

～院長コラム～

『 小児の採血 』

最近では食物アレルギー検査で血液検査をする機会が多いです。保育園に上がる時に血液型を調べてほしいというも増えました。カゼをこじらせて点滴をする時には、血液が出てくるので同時に血液検査ができます。

小児は肘の静脈から採血しますが、点滴だと手背が多いのが特徴です。

手背は痛いですが、血管がしっかり見える(出ている)お子さんだと成功率は高いと思います。

採血による末梢神経障害の話ですが、採血が終われば普通痛みはなくなります。

採血が終わっても、しばらく痛みが残るのを遷延痛と言います。

4500回の採血に1回ぐらいの割合で起こります。

採血時に針先が誤って神経に触れてしまって起きるのを神経障害痛と呼びますが、3万回に1回程度です。

採血後、難治性の複合性疼痛症候群、手が腫れたり、手が動かなくなってしまうという特殊な自律神経障害は150万に1人程度です。

小児の採血など処置は固定が8割という話があります。

しっかりカラダを固定して、血管に沿った穿刺をすればそうそうトラブルはありません。

ただし、時々本当に難しい血管を持ったお子さんがいます。

何とか採血をしますが、苦勞します。

「こども健康ネットブログ」より



なかしまこどもネット QRコード
※名前を入力して送信して下さい



こども健康ネットブログ
QRコード

なかしまこどもクリニック



通信

2015年5月号

なかしまこどもクリニック 瑞穂市十九条(パロー北)

ホームページ www.n-kodomo.com

診療時間		月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	
午後	14:00~15:00		△		★	△		
	16:00~18:30	○	○			○		

★:漢方外来 14:00~17:30 受付 △:乳幼児健診及び予防接種



TEL:058-327-3100

2015年5月11日～
診察・予防接種
インターネット予約
QRコード

